

特集

企画展「北条義時が生まれた里「伊豆の国」の中世」より

特別展示の文化財について

光照寺 源頼家公 病相の面

鎌倉幕府2代将軍源頼家が修禅寺に幽閉され病を患った際、鎌倉に住む母政子に病状を知らせるため、7日ごとに面相を写した面を彫り、鎌倉まで届けていました。ある日、面を携えた使者が鎌倉へ向かう途中、頼家逝去の急使に追いつかれ、近くを通りかかった光照寺にこの面を納めたといわれています。(光照寺旧記による)

この面については謎が多く、守山の麓の信光寺の寺伝には、「源(武田)信光(信光寺の開祖)が使者であった」とする記述が残っています。



光照寺伝来
源頼家公 病相の面

豆塚神社 懸仏

懸仏(かけぼとけ)は、鏡や銅板などに神像や仏像をあらわし、吊り懸けたものです。鎌倉時代〜室町時代にかけて盛んに製作されました。

豆塚神社の懸仏は直径14〜16cmの青銅板に立体的な像などを取り付けたもので、3面が現在まで伝わっています(うち1面は像とみられる部分が欠損)。しかし、これらがいづころから豆塚神社に伝来しているのかわからなくなっています。



豆塚神社伝来 懸仏

豆塚神社 鰐口

鰐口(わにぐち)とは仏具の一種です。扁平円形の形状をしており、神社仏閣の堂の軒にかけ、参拝者はその前に垂らされた太い紐で打ち鳴らします。

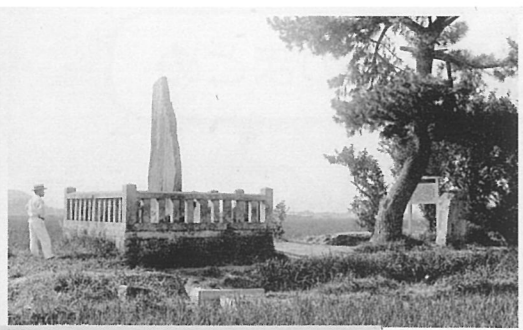
直径24.5cm、青銅製で、銘文には「奉流逗州伊逗国江馬庄大明神之鰐口」と刻まれており、この鰐口が確かに豆塚神社に伝来したものであることを示しています。製作年は文明四年(1472)で、大旦那(施主)山田三郎右衛門、大工(製作者)阿部吉行の名前が記されています。阿部吉行は伊豆を中心に活動していた鋳物の職人であると考えられています。



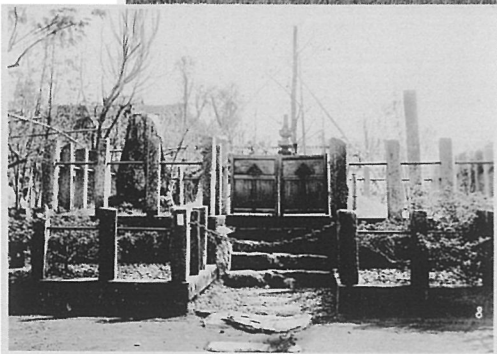
豆塚神社伝来 鰐口

コラム 昭和初期における 北条関係の史跡

左の写真は、昭和10年頃の絵はがきの蛭ヶ島と北条時政の墓です。旧葦山村は史跡の保存の意識が高かったようで、大正5年(1916)に「葦山村名勝旧跡保存会」の設立が進められ、寄付金によって整備が行われていました。その後の昭和25年(1950)には史跡の保存・公開に関わる公的機関「葦山史蹟保存会」が設立されました。北条氏ゆかりの史跡は、地元の人々の想いで守られてきたのです。



蛭ヶ島



北条時政の墓

資料館ダイアリー

6月〜7月
市内幼稚園・保育園の園児が来館しました。華やかな文様の縄文土器や、古墳時代の勾玉などを「きれい」「かっこいい」と言いながら鑑賞しました。

6月5日〜8月29日
企画展「土器ドキ動物ランド」を開催しました。静岡県埋蔵文化財センターの協力の下行われた本展では、「動物」をテーマにした出土品が並びました。動物の骨や疫病退散を願った土馬、龍が描かれた壺など、まるで動物園のような展示となりました。市内の保育園・幼稚園の園児が描いた動物の絵も、華を添えました。

8月17日〜9月30日
静岡県立中央図書館において、企画展「北条義時が生まれた里『伊豆の国』の中世」が開催されました。2022年の大河ドラマ放映をきっかけに、静岡県民により伊豆の国市の歴史を知っていただくことを目的に、パネルのほか実物も交えながら展示を行いました。

令和3年度上半期 体験学習のまとめ

火起こし体験

五月から七月にかけて、県東部の学校を対象に火起こし体験が城池親水公園で行われました。初夏の蒸し暑さの中、火起こし隊に教わりながら協力して火を起こしました。

伊豆の国市の火起こし体験は、「マイギリ式」の火起こし器を使います。木を高速ですり合わせて作った火種を、乾燥させたヨモギとシユロの皮で包み、それを大きく回して風を送って着火させます。火起こし隊は火起こし体験を行うボランティア団体で、令和二年度には市の功績表彰を受けました。肌で感じる歴史体験を、子どもたちに伝え続けています。



土馬をつくらう！

企画展「土器ドキ動物ランド」の展示に合わせ、八月七日、親子を対象に土馬づくり体験が行われました。土馬は馬の形をした土製品で、疫病退散や雨乞いなど、古代のまじないで使われたと考えられています。

参加者は褐色の粘土で小さな馬をつくり、疫病退散の思いを込めました。一見簡単に見えますがやってみると結構難しく、苦戦する参加者も。最後は本物の土馬と同じ展示ケースに展示しました。



インフォメーション

施設案内

開館時間 午前九時～午後四時三〇分
休館日 月曜日 毎月最後の金曜日
年末年始（十二月二十八日～一月三日）
六月最終週の館内整理期間
（図書館休館日に準じる）

料金 無料

所在地 静岡県伊豆の国市三福二五三-一

（伊豆の国市立中央図書館二階）

問合せ 〇五五八・七六・五六七八

周辺地図



伊豆の国市郷土資料館 資料館だより vol.15

編集発行・伊豆の国市郷土資料館 令和三年十月一日
印刷・いさぶや印刷工業株式会社